

宮城合奏団演奏会

平成29年11月18日(土) 午後5時開演 (午後4時30分開場)

宮城道雄

暁の海

宮城道雄

吹雪の花

菊崎検校

西行桜

佐藤敏直

飛翔

宮城道雄

比良

宮城道雄

祝典箏協奏曲

イイノホール

東京都千代田区内幸町2-1-1 ☎03-3506-3251

- ◆東京メトロ日比谷線・千代田線「霞ヶ関」駅C3出口から徒歩1分
- ◆東京メトロ丸の内線「霞ヶ関」駅B2出口徒歩5分
- ◆東京メトロ銀座線「虎ノ門」駅9番出口徒歩3分
- ◆東京メトロ有楽町線「桜田門」駅5番出口徒歩10分
- ◆都営地下鉄三田線「内幸町」駅A6出口より日比谷シティ経由で直結

チケット料金 全席自由 5,000円(税込)

チケット取扱い：宮城事務局 〒162-0835 東京都新宿区中町35 ☎03-3260-0308 / 各出演者

宮城合奏団演奏会

特別出演 牧瀬裕理子

賛助出演 尺八：山本邦山・青木彰時 打楽器：望月晴美 フルート：有田紘平

宮城合奏団

森千恵子 大浦美紀子 佐野奈三江 樽松志保美 藤木豊乃 三森正子
新宮順子 岩城弘子 吉澤昌江 上條妙子 村田章子 松井美千子
市橋京子 帯名久仁子 野澤潤子 多々良香保里 池上眞吾
長谷川愛子 遠藤千晶 小畔香子 阪元沙有理 大嶋礼子 吉永真奈



宮城道雄 (1894-1956)

明治27年(1894)、神戸三宮居留地内で誕生。同35年、8才のときに失明の宣告を受け、二代目中島検校に入門、以後、箏曲家の道を歩む。同38年、免許皆伝。同40年、韓国の仁川に渡り、同42年、14才のときに処女作《水の変態》を作曲。

大正6年(1917)に青雲の志を抱いて上京し、同8年、第1回作品発表会を開催。同9年、吉田晴風、本居長世と「新日本音楽大演奏会」を開催、それ以後、昭和初期に一世を風靡した新日本音楽の泰斗となる。同14年、ラジオ試験放送初日に出演。

昭和2年(1927)、ビクター専属芸術家。同4年名曲《春の海》を作曲。翌5年、東京音楽学校(現東京藝術大学)講師、同12年教授に就任。この間の昭和7年、フランスの女流ヴァイオリニスト、ルネ・シュメー女史の演奏会で《春の海》を合奏。その後、日・仏・米でレコードが発売されて世界的な名声を得る。

戦後、昭和23年(1948)、日本芸術院会員を拝命。同25年、第1回放送文化賞受賞。同26年「宮城会」を結成。同28年、国際民族音楽舞踊祭日本代表として渡欧。昭和31年(1956)6月25日、関西演奏旅行の途上、列車から転落し、62才の生涯を閉じた。

作曲数420以上、また楽器の改良に努め、十七絃、八十絃、短琴、大胡弓などを考案。さらに随筆家としても著名で『雨の念佛』ほか10冊におよぶ随筆集を上梓している。

..... 宮城合奏団

宮城合奏団は、昭和8年(1933)に合奏技術の向上を目的として創設された「宮城社研究部会」を母体とし、2年後にはすでに「宮城合奏団」の名称で対外的な活動をしている。

その後、幾多の変遷を経て、昭和44年(1969)に宗家宮城喜代子・数江が主宰して新結成されたのが、現在の宮城合奏団であり、それを現宗家、牧瀬裕理子が引き継いでいる。

昭和45年(1970)1月2日の関西テレビ正月特別番組出演から公的に活動を開始し、現在までに、全国各地での演奏会、ラジオ・テレビ放送、レコード録音などで活躍しており、そのレパートリーも宮城道雄の作品はもちろんのこと、



古典曲から現代曲にいたるまで、多岐にわたっている。

昭和50年(1975)の東京公演では、文化庁の芸術祭優秀賞を受賞するなど、その活動は高く評価されている。